

# 大和ハウスグループ エンドレス募金・ハート募金 令和6年能登半島地震 活動報告

一般社団法人RCF  
2024年12月

## ■はじめに

この度、大和ハウス工業株式会社よりご寄付をいただき、私たちの令和6年能登半島地震復興支援に関わる活動にご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。本報告書は、いただいた寄付金を活用して実施した活動と成果を報告するものです。

私たち一般社団法人RCFは、東日本大震災を機に設立した復興支援団体です。これまで、東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨等全国各地の災害による被災地で、数年以上にわたり継続する被災者・被災事業者の中長期的な「復興」の支援を行ってきました。

能登半島地震の被災地では、発生直後の1月から代表や職員が被災地に入りながら、以下のような活動を実施しています。今回いただいたご寄付につきましても、こうした被災地の復興支援のための活動に活用させていただきたくています。

## ▼能登半島地震被災地での主な活動

- ・中長期的な被災地の復興プランへ被災者の声を反映させるための取組
- ・民間企業や団体等が、被災地内の住民/事業者等の課題や展望を伺う機会の創出および支援活動/事業創出の支援
- ・民間企業や団体等から提供される様々なリソースと被災地内の団体/事業者等とのマッチング支援等

## ■活動報告①

NPO法人新公益連盟<sup>1</sup>が年に1回実施する合宿を石川県金沢市にて開催。当法人も会員として参加するとともに、希望者を募り能登半島地震被災地でのボランティア活動の調整と実施を担いました。また、合宿内のプログラムでは、被災地の復旧・復興に向けた民と公の連携について議論が行われ、当法人代表の藤沢がセッションのモデレーターとして登壇しました。

### | 活動①新公益連盟の合宿

- ・ 概要
  - ・ 日時: 2024年10月11日(金)～10月12日(土)
  - ・ 会場: TKPガーデンシティPREMIUM金沢駅西口
  - ・ 参加人数: 170名
- ・ 活動内容
  - ・ 被災地でのボランティア活動
  - ・ 「人口減少社会を見据えた復興復旧とNPOの役割」や「民と公の連携による能登復興」を題材とした分科会
  - ・ 「NPO/ソーシャルセクターの在り方」や「若手人材の確保」等を題材としたグループディスカッション



▲ ボランティア活動、分科会、グループディスカッションの様子

## ■活動報告②

<sup>1</sup> NPO法人新公益連盟について: <https://www.shinkoren.or.jp/>

公益社団法人経済同友会<sup>2</sup>が主催する「のとマルチセクター・ダイアログ」の企画・現地団体等との調整・当日イベントへの登壇等を実施しました。このプログラムは、被災地域の復興に向け、取組を行っている団体の活動の促進および支援の検討や、復興に向けた取組のプレイヤーや自治体同士の情報共有を目的として行われました。当法人の代表・藤沢はグループセッションでのモデレータを務め、オフグリッドや交通など、被災者のライフラインについての現状・課題やどのような連携・協働が可能であるか討論を行いました。

#### | 活動②のとマルチセクター・ダイアログ視察

- ・ 概要
  - ・ 日時:11月9日(土)
  - ・ 視察場所:能登空港NOTOMORI、能登高校柳田校舎、珠洲ホースパーク、珠洲市社会福祉協議会、輪島キリモト、輪島工房等
  - ・ 参加対象者:
    - ・ 能登地域の首長・行政関係者、企業経営者、NPO 経営者等
    - ・ 経済同友会正副代表幹事等幹部 およびその所属企業関係者
    - ・ スタートアップ企業経営者
    - ・ 復興プロフェッショナル(東北の復興実務経験者等)
  - ・ 参加人数:96名
  - ・ 現地団体登壇者:石川県知事、副知事、事業者、教育関係者等
  - ・ 開催結果:<https://www.doyukai.or.jp/newsrelease/2024/241109.html>
- ・ グループセッションテーマ
  - ・ まちづくり(住宅)
  - ・ オフグリッド/モビリティ
  - ・ 子供・教育・大学連携
  - ・ アート・文化
  - ・ 観光・関係人口
  - ・ 能登の食



▲グループディスカッション、集合写真、視察の様子

<sup>2</sup> 公益社団法人経済同友会について:<https://www.doyukai.or.jp/>